

令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業 実施状況及び効果検証

(単位:千円)

交付対象事業 の名称	事業の概要(①②③④を必ずそれぞれの項目毎に明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	A 総事業費	実績				事業 始期	事業 終期	事業 始期	事業 終期	事業の実績 ①成 果 ②効 果
			A 総事業費	B 交付対象経費	C 国庫補助額	D その他 (一般財源や 補助対象外経 費等)					
低所得世帯支 援金事業【低 所得者世帯給 付金】	①新型コロナウイルス感染症による収入減少などの影響に加え、電力・ ガス・食料品などあらゆる生活物価の高騰は低所得世帯にとって負担感 が大きいことから、負担の軽減を図るため1世帯あたり3万円の支給を行 うもの。また、低所得世帯以外でも令和5年1月以降に収入が減少した家 計急変世帯について併せて支援するもの。 ②支援金、事務費(需用費、役務費、委託料) ③支援金 R5年度住民税非課税世帯 888世帯×30千円=26,640千円 R5.1月以降 家計急変世帯 0世帯×30千円=0千円 ④川崎町民 R5年度住民税非課税世帯 R5.1月以降 家計急変世帯	26,640	26,640	26,640	0	0	R5.6	R5.12	R5.6	R5.12	①対象者 930世帯 支給済 888世帯 未申請 30世帯 辞退等 12世帯 ②支給額 26,640千円 対象者に対し95%以上の方々を支援 することができた。辞退など理由を把握 できたもののほかに、30世帯の未申請 世帯があったが理由などは把握できな かった。
低所得世帯支 援金事業(事 務費)	①新型コロナウイルス感染症による収入減少などの影響に加え、電力・ ガス・食料品などあらゆる生活物価の高騰は低所得世帯にとって負担感 が大きいことから、負担の軽減を図るための1世帯あたり3万円の支給 と、低所得世帯以外で令和5年1月以降に収入が減少した家計急変世帯 を支援するための事務費。 ②低所得世帯への支援金に係る事務費 ③事務費 673千円 用紙等消耗品及び印刷代等 104千円 通知書郵送料 205千円 振込手数料 84千円 電算システム改修費 280千円	673	676	673	0	3	R5.6	R5.12	R5.6	R6.1	①上記の給付金支給について滞りなく 事務を行うことができた。
商品券配布事 業	①新型コロナウイルス感染症による収入減少などの影響に加え、電力・ ガス・食料品などあらゆる生活物価が高騰し、各家庭の負担が増えてい ることから町民一人あたり6千円分の商品券を配付し支援するもの。商 品券の配付とすることで原油高騰、子育て世帯など各家庭の事情に合っ た使用方法としてもらえるほか、商品券を使用可能な店を町内に限定す ることで、町民と同様に原油高騰やコロナ感染拡大などの影響を受ける 商店の活性化を図るもの。 ②商品券購入代及び事務費 ③1セット 6千円×8,300セット=49,800千円 事務費4,800千円 ④川崎町商工会、川崎町民(生活者)	54,600	53,848	47,616	0	6,232	R5.6	R6.3	R5.6	R6.3	①対象者 8,221人 配布額 49,326千円 使用実績 49,170千円 事務費 4,678千円 ②配布額に対し約99%の使用率となっ たことから、町内商店と各家庭の支援 になったものと思われる。